

ふくろう新聞

<発行>
特別養護老人ホーム
淡路ふくろうの郷
広報委員会
洲本市中川原町
中川原28番地1
TEL:0799-25-8550
FAX:0799-25-8551

みんなで秋を満喫しました!



▲やった! みんなで力を合わせておいしいベビーカステラがたくさん出来ました。

安乎小学校の児童と交流

11月26日(木)に、隣の安乎小学校の6年生14名が来所され、入所者さんと交流しました。同小との交流は昨年引き続き2回目です。自己紹介では、小学生の皆さんが自分の特技を披露してくださり、入所者さんも大喜びでした。その後は、各ユニットに分かれて、小学生と入所者さんが一緒にベビーカステラ作りをしました。生地作りからトッピングもして、焼き上げて出来



▲うまく焼けたかな?



▲みんな一緒に楽しいひととき

上がり。みんなでおいしくいただきました。最後は記念撮影。入所者さんにとっても、小学生にとっても、有意義な一日になったと思います。特に、入所者の富永ゆき子さんは小学生のみなさんと握手をして、別れを惜しんでいました。12月には、今度は逆に淡路ふくろうの郷から安乎小学校へ訪れて交流する予定です。入所者さんはその日を楽しみにしています。

(介護:角村)



▲これがおいしそう!



▲車椅子でもゆったり

平岡農園へみかん狩り

淡路ふくろうの郷では、毎年みかん狩りに出かけます。恒例の行事は、みかんの木から直接ハサミでみかんを採り、その場で食べます。秋の好天の元、みなさんお楽しみでした。平岡農園の方々も、毎年親切に対応くださり、うれしさを分かち合いました。今年もみかん狩りに戻りました。



▲みかんの木をバックにハイチーズ!

いよいよ今年も押し迫ってまいりました。ふくろうの郷ではクリスマス会や餅つき・しめ縄作りと年末の行事も盛りだくさんです。年が明ければ初詣・新年会・鍋料理とこちらも盛りだくさん。みなさまが良いお年をお迎えできますように。

た。兼ねて外出されまし
 た。入所者のみなさん、
 とってはお待ちかねの
 外です。店に入って、
 みなさん思い思いに注
 文しました。たこ焼き、
 お好み焼き、チャーハン
 を頼む方もおられました
 が、中でも日外きくさん
 の「たこ焼きをとてい
 る」が印象的でした。写
 真(入所者から寒くなっ
 て、これからは、とて外
 出厳しくなるので、そ
 の前に楽しんで出が、
 来、みなさんに喜んで
 した。けたのが、よりで



▲たこ焼き、いただきま〜す

花木ユニット 外出しク

介護実習生の 感想

実習生さんから感想
 をいただきました。こ
 れから社会に出られ
 る笑顔でがんばって
 ください。応援して
 ますね。

9月・11月と淡路ふくろ
 うの郷で実習を行わせて
 いただきありがとうございます
 た。この実習では、ふくろう
 郷だからこその学べる事
 がありました。様々な人が
 生活することの大切さ、
 そして、一人ひとりがや
 りたい事をやる生活、学
 べる空間と、いろいろな事
 を経験することができま
 した。又、多くの人々の支
 え、協力があるという事
 や職員の方々の業務につ
 いても実際に同行させて
 頂く中で、学び、経験が
 たくさんありました。今
 後の生活でもこの経験
 を活かしていきたいと思
 います。

四国学院大学：
三芳裕美



▲丹精こめて作りました。

巻き寿司作り



もうすぐクリスマス。ふくろう
 手芸講座では、フェルトを使
 ったリースを製作！
 このリース、お客様からと
 っても好評なんですよ☆



手芸講座

11月17日に巻き寿司
 作りをしました。職員が
 手作りしながら、入所
 者のみなさんへ、巻
 き寿司の作り方を
 伝授しました。大変熱
 心で、お楽しみまし
 ました。



■高橋 美代子さん

昭和6年 12月15日 (78)



■中務 幸子さん

大正14年 12月14日 (84)



■新居 花子さん

大正8年 12月10日 (90)



■中村 正一さん

大正6年 12月5日 (92)



■中島 あい子さん

大正14年 12月17日 (84)



※お詫びと訂正
 11月発行第39号にて、坂口きぬ
 さんの誕生日を「昭和6年
 11月9日」と記載いたしました
 が、正しくは「大正3年11月
 9日」の誤りです。お詫びし
 て訂正いたします。

いきました。自分で
 巻き寿司を作
 ったので、お
 楽しみでした。
 皆さんの笑顔
 が、とても嬉
 しいです。

地域を語る

第12回 初明神

「しろしば」供えて豊作祈願

中川原町中川原 大歳神社

濱口 禧寛 宮司

中川原町中川原に鎮座する大歳神社では、年間四度の祭典が執り行われる。即ち一月六日の新年祭。一月十八日の祈年祭(春祭)。七月六日の夏祭。十月六日の秋祭であるが、近年はそれぞれの祭典日に近い日曜日に執り行われている。

ご祭神は大年大神で、建速須佐之男大神の第五子、三男に当る。因みに稲荷神社のご祭神、宇迦之御魂大神は第六子、四男に当る、いずれも農業稲作を司る神である。又毎年、年神様の棚を設けて、其の年の豊作を祈りて祭る御年神、若

年神は大年大神の御子神である。

一月六日の新年祭には、長さ約三十センチの椎の枝数本を束ね、米の粉を混ぜた水をかけた「しろしば」を当番に当る人々が用意をし、神前に供えられる。祭典後、「しろしば」を持ち帰って、神棚か床の間で保管し、稲蒔き時に苗床付近に祀るとその年の秋の豊作が約束されるという。

中国地方を中心として、これに似た年柴神事と称して、水口の祭や田植祝に三把の榊の小枝を一束にし、田の神に供える風習がある。

一月十八日の祈年祭(春祭)には地域の繁栄や五穀豊穰を祈った後、境内に祀らえた鬼と大書された的に向って町内会長を始め、参拝の人達

が、悪魔をはらう矢を放つ。神事を終わると人々はその矢を持ち帰り田に立て、その年の豊作、病中害予防を祈る。



▲神前に供えられる「しろしば」

風邪・インフルエンザ予防

みなさんは「せきエチケット」という言葉をご存知ですか？

せきで1.5m、くしゃみで3m、ウイルスを含むしぶきは飛び散ります。せき・くしゃみのある方は口と鼻を覆いましょう。そのためにはマスクはとて有効です。

その他注意点として、口と鼻を覆うのに使ったティッシュはゴミ箱に捨て、他の人が触らないようにしまし

よう。ティッシュなどが無い時は、手ではなく、周囲に触れにくい腕で鼻と口を押さえましょう。つばや鼻水が手に付いたら、石鹸で丁寧に洗い流しましょう。淡路ふくろうの郷でも注目に注意を重ね、予防に努めています。



第7回ふくろう学習会のおしらせ

デフ・パペットシアター・ひとみ **善岡 修氏**

今回のふくろう学習会講師は、日本で唯一、ろう者と聴者が一緒に公演活動を行っている人形劇団、「デフ・パペットシアター・ひとみ」代表の善岡修さんです。「デフ・パペットシアター・ひとみ」が創り出す音声言語に頼らない人形劇は、観る人の心に優しく、温かく響きます。

今回の学習会はワークショップです。コミュニケーションの大切さ、手話という言葉の魅力を善岡さんが私たちに楽しく伝えてくれます。

場所は淡路ふくろうの郷・地域交流スペース。みなさんのたくさんのご参加をお待ちしています！

手話で遊ぼうワークショップ(仮)

◆開催日時◆ ◆参加費◆ **500円**
1月24日(日) 13:30 ~ 15:30

**ふくろう
喫茶
お知らせ**
12月20日(日)
13:00~15:00

ふくろう喫茶で淡路ふくろうの郷の入所者さんと楽しい時間を過ごしませんか。

- ・コーヒー・ココア・紅茶
 - ・カルピス などなど
- ¥200 より